

**特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム**  
**2016年度8回常任委員会 議事録**

- 1 日時：2016年10月19日(水)午後4時～午後7時30分
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室

3 出席者の確認

常任委員総数9名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：大西 健丞

NGOユニット：橋本 笙子

外務省：民間援助連携室長 関 泉

経済界：永井 秀哉

経済界：エディ 操 (欠席につき表決権委任：有馬委員)

学識経験者：石井 正子 (欠席につき表決権委任：有馬委員)

学識経験者：堀場 明子 (欠席につき表決権委任：有馬委員)

代表理事：有馬 利男

事務局長：飯田 修久

オブザーバー

外務省：民間援助連携室 垂井 俊治

AAR：穂積 武寛

CWS：小美野 剛

議長は、常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

4 第一部：審議事項

- (1) 第一号議案：第6回常任委員会および第26回「共に生きる」ファッド 常任委員会議事録の承認  
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (2) 第二号議案：助成カテゴリー付与について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

カテゴリー1付与：一般社団法人日本イスラエイド・サポート協会  
(但し、団体ロゴ使用に関する覚書を締結することを条件とする)

- (3) 第三号議案：九州地方広域災害被災者事業のプログラム方針について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。(支援期間は2018年3月末日まで、に変更する)

(4) 第四号議案：常任委員会アドバイザーの委嘱について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。(武田薬品工業の新CSRヘッドの方へのフォローを行うこと、とのコメントあり)

5 第一部：協議事項

(1) 「共に生きる」ファンド助成の対応について

事務局より、「共に生きる」ファンド助成の状況について報告したところ、委員より「オプション2：東京地裁に提訴する」にすべきであり、その裁判費用はオーバーヘッド分から出すこと、とのコメントがあった。

(2) 国内災害対応方針について

事務局より、2014年度作成の「JPF国内災害対応方針」をベースとした2016年度の国内災害対応方針について説明し、原案通り加盟WGの協議にかけることが了解された。また、委員より「初期段階では判断できないため、初動調査チームはとにかく早く出動すべし」とのコメントがあった。

6 第一部：報告事項

(1) 財務状況の報告

事務局より、「9月度の財務状況」について報告したところ、委員より事業別の内訳や運営費の詳細リストがないと精査することが出来ないとのコメントがあり、次月度より詳細リストを追加することとなった。

(2) 熊本地震活動報告会（9/28開催）について

事務局より、「9/28開催 熊本地震活動報告会」（参加者：約50名）について報告した。

(3) 福島支援：企業セミナー2016（10/13開催）について

事務局より、「10/13開催 企業向けセミナー2016」（参加者：約50名）について報告した。

(4) イラク・シリア人道危機対応コンセプトノートの審査方法について

事務局およびイラク・シリア人道危機対応コンセプトノートレビュー委員会より、「加盟NGOによるコンセプトノート審査レビュー結果」について報告した。

(5) タイ日教育開発（TJED）の退会について

事務局より、10月7日付けタイ日教育開発（TJED）の退会について報告した。

（JPF加盟NGO：計46団体）

(6) 経営委員会準備会との意見交換（10/4開催）について

代表理事および事務局より、経営委員会準備会との意見交換（10/4開催）の結果を踏まえた「経営委員会準備会としての対応（案）」について報告し、これに基づき準備会にて対応すること、また追加に意見のある場合には適宜代表理事、または事務局へ申し出られたい旨を説明した。

(7) NGOユニットから経営委員会への報告

NGOユニットでは2016年7月～9月の3ヶ月間において「JPF未来セッション」と称する勉強会を開催し、経営委員会への報告事項として「JPF未来セッション①戦略②事業③パートナーシップ」をまとめ、報告した。

## 7 第二部：審議事項

### (1) 第一号議案：イラク・シリア人道危機対応にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

- ① PWJ：イラク共和国北部におけるシリア難民および国内避難民へのシェルターと給水支援（政府支援金）

承認。

- ② CCP：避難先コミュニティにおける越冬・食糧支援及び教育、医療を通じた子ども支援（政府支援金）

条件付き承認。

- ・ログフレームにおいて、目標とする成果における各数値の積算根拠を申請書に明記する。また、指標については各活動ごとに設定し、目標値と指標が混在しないように整理する。

### (2) 第二号議案：パレスチナ・ガザ人道支援2016にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

- ① CCP：ガザ紛争後の長期化した人道危機に直面する子ども・青少年・家族の支援（後期）（政府支援金/民間資金）

承認。

## 8 書面による報告

### (1) NGOユニットおよび事務局より、書面をもって以下を報告した。

- ① NGOユニットからの報告
- ② 「共に生きる」ファンド第30回収支報告書調査結果
- ③ 事業計画変更の報告
- ④ JPF事務局審議結果の報告
- ⑤ 固定資産処理の報告
- ⑥ 終了報告書審議結果の報告

### (2) 次回の開催日時と会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することを確認した。

2016年度第9回常任委員会：2016年11月17日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第10回常任委員会：2016年12月20日（火）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第11回常任委員会：2017年1月19日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第12回常任委員会：2017年2月16日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第13回常任委員会：2017年3月16日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

以上